

営農技術情報

－畑作（秋まき小麦②）－

令和3年 4月30日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521
JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～生育状況を確認し、窒素施肥を行いましょ～

起生期は平年より10日程度早く、生育量は平年並でした。現在の生育は、平年より1週間程度進んでいます。

ほ場ごとに生育状況を確認し、生育量に応じた窒素施肥を行いましょ。

1 幼穂形成期(平年 5/11)の窒素追肥

幼穂形成期の窒素追肥は、1穂粒数の確保につながります。**窒素施用量 4 kg/10aを目安**に、ほ場の生育量や葉色、前回の窒素追肥の時期や施用量を考慮して行いましょ。

○ 茎数が多いほ場（穂数が多いと予想されるほ場）

→ 窒素追肥を控える（施用量を減らす、しばらく生育を見て判断するなど）

○ 茎数が少ないほ場（穂数が少ないと予想されるほ場）

→ 窒素追肥を行い、1穂粒数を確保する（施用量は葉色に併せて加減する）

※土壌肥沃度が低いと予想される場合は、茎数が少ないほ場と同様に対応する。

2 雑草防除

優占雑草の種類に応じて薬剤を選択し、使用時期が遅れないよう散布しましょ。

表1 主な春処理除草剤（JA道北なよろ農作物施肥・病害虫・雑草防除ガイド掲載薬剤）

対象雑草	除草剤名	使用時期	10a 使用量	回数
一年生広葉雑草 多年生広葉雑草	MCP ソーダ塩	麦の幼穂形成期(春) (収穫 45 日前まで)	300g	1
一年生広葉雑草	バサグラン液剤	麦の幼穂形成期(春) (春生えのみ) (収穫 45 日前まで)	100～150ml	1
一年生広葉雑草	エコパートフロアブル	春期(雑草発生始期) (止葉抽出前まで) (収穫 45 日前まで)	50～75ml	2
一年生広葉雑草 ギンギン類	ハーモニー75DF水和剤	麦の幼穂形成期(春) (収穫 45 日前まで)	7.5～10g 3～5g	1

※エコパートフロアブル：展着剤は薬害を助長する恐れがあるので加用しない。

※ハーモニー75DF 水和剤：散布に用いた器具類は、専用の洗浄剤でよく洗浄する。

3 眼紋病の防除

連作や過去に発生が見られたほ場では、幼穂形成期頃に防除を実施しましょ。

表2 眼紋病の防除薬剤例（JA道北なよろ農作物施肥・病害虫・雑草防除ガイド掲載薬剤）

薬剤名	使用倍率	使用時期	回数
カンタスドライフロアブル	1,500 倍	収穫 45 日前まで	2

◎ 農薬は使用基準を守り、周囲への飛散に注意しましょ ◎